

公民館報

七かえ

第359号

令和6年7月1日発行

- 発行
栄村公民館
〒389-2703
長野県下水内郡栄村
大字塚9214-1
- 電話
0269-87-2100
- 編集
栄村公民館報編集委員会

秋山特集

秋山地区の皆さんが取り組んでいる、地域活性化の活動を紹介します。

●和山集落の屋号看板

山田武雄さんが小滝集落の家屋に屋号看板が付いているのを見て気に入り、和山地区の皆さんに提案、地区の皆さんの同意を得て、和山地区の全戸に設置しました。左の写真2枚の屋号は何と読む



でしょうか？

住んでいる方に尋ねたところ、左側は「あたしや」、右側は「しんどこ」と読むそうです。特に「しんどこ」は昔の当主が新作さんだったので「新作さんのところ」から来ているそうです。屋号もいわれを調べてみると面白いですね。



●秋山郷に無人販売所

秋山郷の活性化のため、小赤沢の福原清美さん、山田小百合さん、阿部美代子さんの3人で無人販売所兼休憩所をオープンし3年になります。場所は秋山支所のすぐ近くにある苗場ドライブインの倉庫を借りています。秋山で採れた山



菜、野菜の販売やコーヒーを飲んで一休みできる休憩所があります。

最初は試行錯誤で、地域の皆さんから販売品を寄付していただいたりしながら集めていきました。4月下旬から11月初めの土日・祝日に営業していて、現在では立ち寄りお客さんも増えてきて、賑やかになってきたそうです。



ふるさとを取り戻す

関口さん親子の活動

ふるさとの再生活動に取り組んでいる関口直衛さん（森・92歳）、廣美さん（長野市在住・63歳）親子を訪ね、お話を伺いました。



関口直衛さん

皆さん、暮坪という集落を覚えていきますか。滝見線から奈免沢沿いに入ったところにあつた集落で、昭和46年に7戸約40人が集団移転し、無くなってしまった集落です。当時、自動車が入る道が開いてはいましたが、冬期間は除雪体制も無く、柳在家方面へ出るには雪の中を2km余り歩かなければなりません。このため村から集団移転を進められたとのこと。直衛さんは区長を務めており、集落で話し合ったところ、み

んなで暮坪を出ようということになったそうです。

村としては、暮坪の皆さんに村内の他の場所に移住してもらい、夏は暮坪に通って農業をしてもらうことを考えていたようです。しかし当時は高度経済成長期でもあり、住民の多くはどうせ移住するのなら雪の無いところにと、直衛さん家族を除いて村外に移住してしまいました。

移住後、志久見の人たちなどが耕作者になり、暮坪地区のほ場整備が行われました。しかし、ほ場整備後10年くらいで耕作が行われなくなり、田んぼは荒れ果ててしまっています。

耕作放棄から20年以上が経過し、荒廃したかつてのふるさとを見て悲しくなった、直衛さんの息子、廣美さんがふるさとの復活を思い立ちます。



関口廣美さん

2006年から直衛さんと協力し、田んぼに生えた木の伐採、伐根、草刈りなどを始め、一枚一枚田んぼを復活させていきました。現在では奈免沢沿いに10枚、暮坪に10枚の田が復活しました。田んぼの復活作業は今年も行われています。また集落跡には作業小屋を作り、乾燥・精米も行っています。水管理は監視カメラを設置、衛星インターネットサービスを使い、水門の開け閉めもスマホで遠隔操作できるようにしています。作業小屋の前には広場もあり、今ではかつて集落があつた当時のようなきれいな田園風景が広がっています。

これに併せてかつて暮坪にいた人たちが集まり交流会「暮坪会」が開かれています。ここしばらくはコロナなどで休んでいましたが、昨年からは復活、今年も5月26日に開催されました。

この日は17名が集い、今が旬の竹の子汁やおでんなどをおともに、生活の出来事や暮坪の昔のお話を花を咲かせていました。今は住む人がいなくなった集落に毎年集まってにぎやかな会話ができたことは素晴らしいことだと感じました。暮坪会に参加させていただきました。ありがとうございます。



暮坪会に集まった仲間たち





レンズを 通してみる栄

第3回

齋藤 佑輔
(横倉)



5月下旬、ネマガリダケの皮むきをするとの情報をもらい、越智勇氣さん宅（長瀬）にお邪魔しました。

知り合いの畑で採らせていただいたとのこと、そこには20kgほどの大量のネマガリダケが！皮むきを淡々とこなしていますが、竹の子よりもむいた皮の方が多く積みあがっていく様を見て、思わず「え〜！まだこれだけ!？」と驚嘆しました。

最近では近所の人が集まって皮むきをする光景を見なくなりました。これを見て「また集まるっか!」という気持ちになりました。でもらえたらうれしいです。



「レンズを通してみる栄」 写真大募集中です！

このコーナーでは、自然豊かで素敵な栄村を写真で見て、ここが好き！ここが良い！と感じたものを紹介しています！良い写真や面白い写真がありましたら是非ご紹介したいので、下記応募フォームより栄村公民館へお送りください！

皆さんの素敵な写真をお待ちしています!!



応募フォーム



「さかえ」通信

栄村地域史料保全有志の会 保全活動開始！

2011年長野県北部地震で被災した栄村の文化財レスキューから始まった「地域史料保全有志の会」は現在も考古資料、古文書史料や民具の保存と調査そして活用を目指して活動しています。

4月には文献班と民具班が栄村公民館「こらっせ」に集まり、民具班の活動では主に手漉き和紙に関する聞き取りや道具調査を行いました。



平滝の上倉章夫さんによると、小学生の頃祖父や父が家で行っていた内山紙の工程を見たり手伝ったりしたことがあったそうで、道具の使い方などを教えて頂きました。

文献班では、廣瀬博明家古文書の目録採りと整理をしていただきました。初めて参加した方もいて、解読するのが難しいという声もありましたが、ベテランの人たちに聞きながら和気あいあいと活動していました。

次回も引き続き手漉き和紙関連の情報収集を行いたいと考えていますので、ご経験やご記憶のある方は「こらっせ」までご連絡をお願いいたします。



第46回栄村総合文化祭 出展者・出場者を募集します!!



今年も10月19日(土)、20日(日)に栄村総合文化祭を開催予定です。

昨年は特別企画でのど自慢大会を開催しました。今年ものど自慢大会を企画しておりますので、ぜひのどを潤してご参加ください！

みんなのステージでは、日頃の練習成果の発表から、有志による発表まで幅広く出場できます。

詳しい内容は、これからチラシを配布する予定ですので、準備しながらお待ちください!!

村誌りレー講座 村誌を読み解く ～横倉原遺跡編～

- 日時 令和6年7月27日(土)
午前9時から
- 場所 横倉公民館・横倉原遺跡
- 講師 村誌執筆員 望月静雄氏
- 内容 座学 (1時間)
現地学習 (2時間)
- 申込み 栄村教育委員会事務局
☎87-3118

実際に横倉原遺跡まで徒歩で行きますので、動きやすい服装でご参加ください。

また、各自熱中症対策(飲み物の用意等)をお願いします。詳しくは、全戸配布のチラシをご覧ください。

あーそんなことがあったんか
ど先生の栄村昔語り、其の六十三

『村定について』



地域史料保全有志の会
鈴木 努 (通称：ど先生)
イラスト作成：佐藤洋平

いきなり猛暑日がやってきま
した。最近では「いずれ四季が
二季になる」などと言われてい
ますが、気候の急激な変化は思
った以上の負担がかかります。
熱中症にはご注意ください。

前回は元文の村定法が若者向けのものだった可能性を示してメとしました。村の中の特定の者に向けた定法ではありますが、箕作と月岡の男子一〇九名・組頭二名が署名と判形を押し(うち三名は無判)、村全体で定めた形式を取っています。そこで今回は、村全体に向けた一般的な

村定法とは、というテーマでお話したいと思います。

村定法の存在には、近世の「村請制」が関係しています。学校で江戸時代の村を学ぶ時に聞いた覚えがあると思いますが、年貢などの貢租(税)を村でまとめて納入すること「村請」といいます。年貢は村単位で幾ら、と掛かってくるので、村ではこれを各自の持ち高割り、または家割りで分担し、もし負担に堪えられない百姓が出た場合は、五人組または村全体で補填します。ですから「村請」は村の共同性、裏を返せば連帯責任、相互監視の構造と密接に関係するといわれます。ところで近世の村々はだいたい幕府や大名、旗本、寺社などの領地になっていますが、領主本人または代人が直接村々に乗り込んで支配することは希で、納税をはじめ様々な行政事務や時々下される諸命令などは、触出などの通知が来て、あとは村役人らの責任で実行されていました。村役人は、領主がそうした間接支配の実現のために、村の有力者を取り立てた

ものです。村請制は領主が実務一切を村役人に任せ、全責任を負わせるいっぽうで、村の中のいぢいぢに領主は介入しない、ということ、ある種の自治の形態でもあります。もっともその「自治」は領主に従うこと、領主の法令を遵守することが義務づけられたものでした。自検断を行っていた中世の村々に比べれば、だいぶ弱められた「自治」ではあります。

ところで、領主の法令は、基本法である「法度」と単行法や臨時の法である「触」で構成されています。法度は禁令を主な内容としています。いわゆる「御法度」というものですね。そして村で暮らす百姓層に向けた法度として様々な「仰渡」や申し付けの「条々」がありますが、もう一つ、法令に準じて「心得」として示されるもの、例えば有名な「慶安御触書」のようなものがあります(もともと「慶安御触書」は慶安期に実際に出された幕府の法令ではないようです)。「心得」の代表が、「五人組帳前書」です。

前述した「五人組」の構成員を組ごとにまとめ、各自に押印させたものが「五人組帳」で、毎年領主に提出する決まりになっていました。また「五人組帳」の前書には五人組の意義をはじめ、様々な義務や心得が

書かれています。村役人は年に数回、または毎月これを村の老若に読み聞かす決まりで、村の人々はこうして領主の示す「望ましい百姓」像を内面化するよう仕向けられた、といわれています。

箕作村の「五人組仕置帳」は三七丁(七四頁に相当)にわたり七〇か条あり、これを毎月読み聞かせたそうです。しかしかなりの長文ですし、繰り返しばかり前のように形骸化します。また年月を追って生活や文化が変化するので、時代に合わない部分も出てきます。そうした時に、旧来の「五人組帳前書」の主旨徹底とともに新たな「村定法」を示し、重点の再確認と新しい事態への対応を図る、そういう仕組みが見えてきます。つまり「村定法」は村の変化を物語るものといえるでしょう。



卯二月「五人組仕置帳」(島田家文書)

栄村公民館 図書室だより

..... 2024.7

暑い夏がやってきました。夏に読みたい本を図書室のテーマコーナーに集めました。絵本もレシピも盛りだくさんです。ぜひ足をお運びください。

図書プレゼント!

栄村では親子の本に対する関心を高め、読書の時間をより深く楽しむようになる事を願い、生後4か月、年少さん、小学校1年生へ図書プレゼントを行っています。

この春も小学校と保育園におじゃまして公民館長の手からそれぞれ希望した本を渡しました。館長が「このネクタイにはたくさんのフクロウが描いてあります。フクロウは森の物知り博士と言われてます。皆さんも本をたくさん読んで物知り博士になってください。」と話し、一人ひとりに本を手渡ししました。



▼▲ちゅうりっぷ組



「フクロウのネクタイ見たい!」

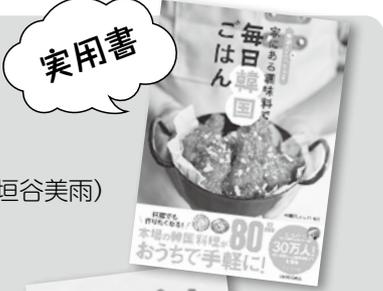


小学1年生



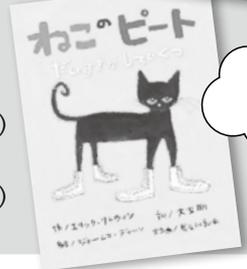
新着図書の紹介

クスノキの女神／ブラック・ショーマンと覚醒する女たち (東野圭吾)
俺たちの箱根駅伝 上・下 (池井戸 潤) / 有罪、とA Iは告げた (中山七里)
母を捨てる (菅野久美子) / 墓じまいラプソディ / うちの父が運転をやめません (垣谷美雨)
黒い糸 (梁井為人) / 清算 (伊岡 瞬) / 二人キリ (村山由佳)
韓国人オッパが作る 家にある調味料で 毎日韓国ごはん (韓国人オッパ セミ)



実用書

はるさんと1000本のさくら (ただのぶこ)
ねこのピート だいすきなしろいくつ / ねこのピート だいすきなよつつのボタン (エリック.リトウィン・作 / ジェームス.ディーン・絵 / 大友 剛・訳)
ランパンパン (インドみんわ マギー.ダフ・再話 / インド民話・作 / ホセ.アルエゴ・絵 / 山口 文生・訳)



絵本

★栄村図書室開放時間★

平日 午前8時半～午後5時
土・日 午前9時～正午
※祝日は休館します

★休館日のお知らせ★

7月13日(土)～15日(月)
8月10日(土)～12日(月)
8月17日(土)～18日(日)





月岡穂希さん（白鳥）

いよいよ高校3年生となりました。中学生の時から、周りの大人たちから高校は人生で1度しかないから後悔のないようにたくさん遊べと言われていましたが、高校3年生になって、その言葉の意味を深く実感できるようになってきました。人生で1度しかない高校生活を後悔のないようにたくさん友達と思い出を作っています。

最近では筋トレとか体作りにはまっていて、たまに友達と一緒に教えたりしながら鍛えています。

将来は、人の体作りを支えるスポーツトレーナーやパーソナルトレーナーになりたいと思います。いろんな人の体を支えて喜んでもらえるトレーナーを目指します。



おおきくな〜れ



大きくなったらお店屋さんになりたいです
 ばあにつくる「ハム玉子焼き、ピーマンの肉詰め」が好きです

りな
莉那さん（5歳）

何事にも興味をもち、チャレンジをしてほしいです。また、栄村の大自然のように『豊かに、どっしりと、美しく』育ってほしいです。莉那の名前の漢字である「那」にはそういう意味も込めています。

齋藤成太朗さん宅（月岡）

長瀬でオープンしたカフェ やりたいこといっぱい進化中!“ふみかふえ”

約1年半前に栄村に移住され、古民家をリフォーム、お店の玄関の外装から内装も自分たちで作られ、元々車庫だったスペースに自作のピザ窯もありました。



クワトロフォルマッジ

ピザ窯で焼かれた手作りの

まだまだ、やりたい事が沢山あるようで、そのお話を聞いていただけでなんだか自分もワクワクするような気持ちになりました。まだ始まったばかりですが、今後の展開も勝手ながら楽しみにしています。



ピザは、もちっとふくらした食感でも美味しく、お店の中は何から何まで自作されていることに唯々感心してしまいました。

今後は、何かしたい事などありますか？と聞くと、「使っていない空き部屋もあるし、囲炉裏もあるのでそれを活用して民泊もやってみたい」と話されていました。



令和5年7月発行の公民館報第353号の「ようこそ！栄村へ!!」のコーナーで紹介した山田隆文さん、文江さん。掲載時に「これからどのように過ごしていきたいですか？」の質問に「友達や近所の人が集まれるあったかいカフェができればと思っています。ピザ窯なんかも作ってみたいです。」と答えて頂いてから約1年。今年の4月末にプレオープンをし、5月3日に本オープンとなった「ふみかふえ」を取材させて

公民館講座年間スケジュール!!

今年度に予定している、公民館講座をお知らせします!

- 7月 **ざっこくびらづくり教室 民具のお話**
〈日時〉 14日(日) 9時30分～
- 10月 **ライトプレーンを飛ばそう!!**
〈日時〉 未定
- 12月 **しめ縄づくり教室**
〈日時〉 未定
- 2月 **耳だんごづくり教室**
〈日時〉 11日(火) 9時30分
- 3月 **豆腐・あられづくり教室**
〈日時〉 未定

このほかに、「こんな料理を学びたい」、「こんな遊びを知りたい」などがありましたら、気軽に栄村公民館までご連絡ください!!

地域史料保全有志の会 活動スケジュール

栄村公民館「こらっせ」で活動をしていますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

- 民具班
日にち：7月13日(土)から15日(月・祝)の3日間
時間：9時から16時
 - 文献班
日にち：8月16日(金)から20日(火)の5日間
時間：9時から16時
- 考古班については、7月に2日程度活動を予定していますが、他の発掘現場との調整があるため、詳細は未定です。

ブッポウソウ調査を行いました!

5月3日(金)に、ブッポウソウ保護活動(巣箱調査)を地元有志の方や、栄小学校4年生などと協力して行いました。

昨年度は10個の巣箱にブッポウソウが営巣していましたが、今年はなんと12個の巣箱に営巣していました!これは今まで調査を続けてきた中で、過去最高の記録になりました。



今月の一句 ~栄村俳句会~

青葉風 今日も畑にて種下す 山菜取る今日の健康感謝して	河鹿笛ぼとりと本をとり落とし 不機嫌な空に青空梅雨に入る	鶯の猛練習やホーホケキョ 無駄のない一日を終えし親つばめ	田のいねに降るるばかりの夏の星 わらをしき山羊子や掃除梅雨来る	辛苦して田水分けあう村の衆 信濃の国覚えし初夏の大合唱
山田せき	関谷貞子	柳 静江	杉浦 仁	杉浦恵子

俳句の会への参加や俳句の投稿募集しています!ご興味がある方は栄村公民館(☎87-3118)までお電話ください。

編集後記

生まれも育ちも栄村なので村内のことを知っているつもりでしたが、編集委員会に出てみると、初めて聞くことがたくさんあり教えていただいています。たくさんの方が動いて、挑戦していて心強いです。栄村をもっと知りたいと思います。雪が少なく、楽をしたと思っていながら、雪解け水が少なく、農業用水不足となりました。梅雨入りも平年より14日遅くなり、昨年よりも暑い夏になると予想されています。さらなる猛暑湯水が心配されます。みなさまもお身体に気をつけて下さい。